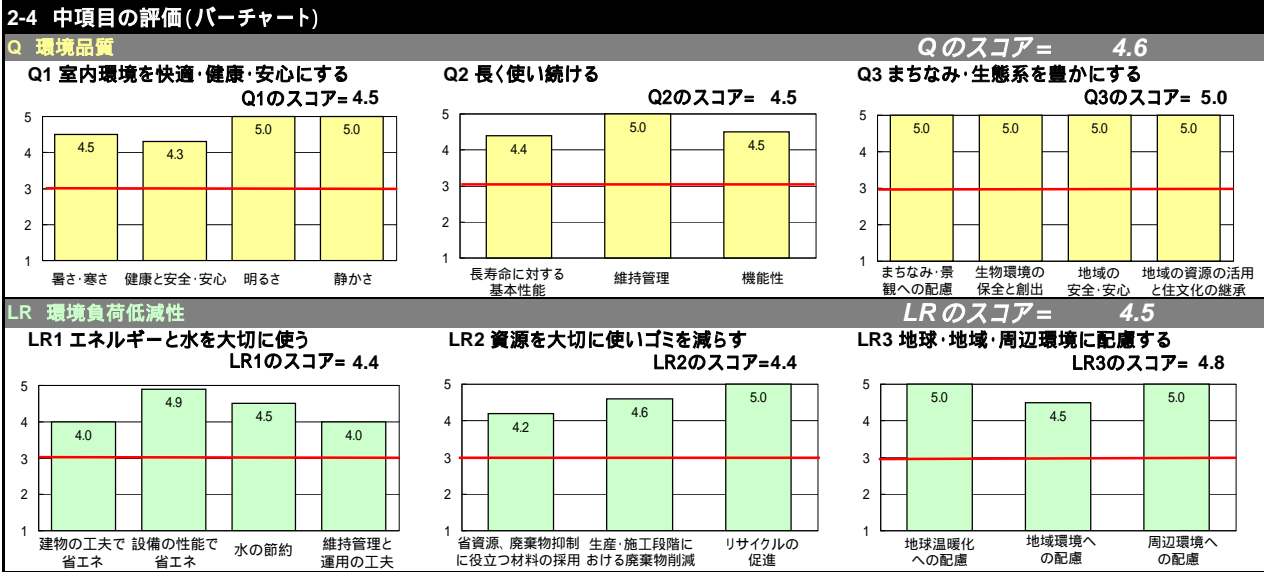
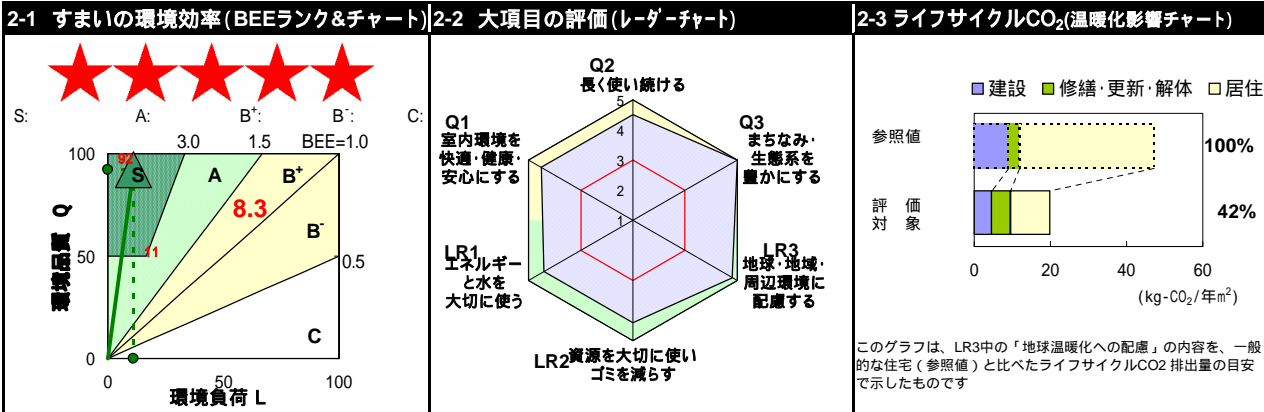


CASBEETM すまい[戸建] 評価結果

使用評価マニュアルCASBEE-すまい(戸建)(2007年版) 使用評価ソフト: SBEE-H(DH)_2007(v1.1)

1-1 建物概要			1-2 外観		
建物名称	OT邸		仕様等の確定状況	建物の仕様	確定
竣工年月	2008年10月	予定	持ち込み家電等	一部確定	
建設地	長野県松本市梓川梓		外構の仕様	一部確定	
用途地域	地域指定なし		<備考>		
省エネルギー地域区分					
構造・工法	木造・在来工法				
階数	地上2F				
敷地面積	625 m ²	確定	評価の実施日	2008年10月18日	
建築面積	132 m ²	確定	作成者	岡江正	
延床面積	211 m ²	確定	確認日	2008年10月18日	
世帯人数	4	確定	確認者		

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください



3 設計上の配慮事項		
総合		その他 熱損失係数 住宅全体: Q=1.894W/mK
Q1 室内環境を快適・健康・安心にする	Q2 長く使い続ける	Q3 まちなみ・生態系を豊かにする
LR1 エネルギーと水を大切に使う 太陽光発電・4kw設置	LR2 資源を大切に使いゴミを減らす	LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency (建築物総合環境性能評価システム)
 Q: Quality (すまいの環境品質), L: Load (すまいの環境負荷), LR: Load Reduction (すまいの環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (すまいの環境効率)
 CASBEE全体の表記ルールに従えば、CASBEEすまい(戸建)の場合、BEE_H, Q_H, LR_Hなどとすべきであるが、本シート上では簡略化のためHを省略した
 「ライフサイクルCO₂」とは住宅の部材生産・建設から居住、改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量であり、ここでは住宅の寿命年数と延床面積で除した値を示す
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q_{H2}, LR_{H1}中の住宅の寿命、省エネルギーなどの項目の評価結果から自動的に算出される
 LCCO₂の算定条件等については、マニュアルおよび「ライフサイクルCO₂計算シート」を参照されたい